

代表者名	田森洋道	所管部課名	農林水産部 農畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域的かつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】(20年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

①主たる業務

1. 肉畜のと殺、解体。 2. 枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3. 食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。 4. 前各号に付帯する一切の事業。 5. 加工品の製造販売に関する事業。

②事業実績

(頭)

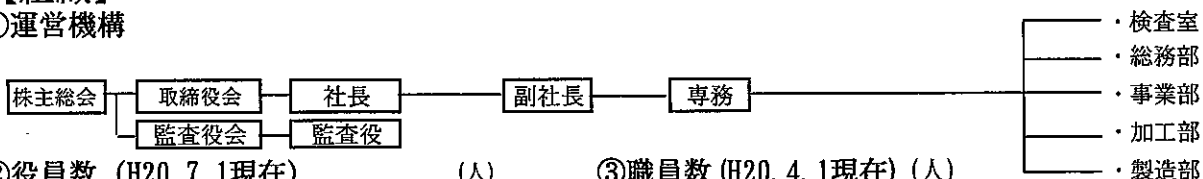
事業名等	17年度	18年度	19年度
豚と畜頭数	153,799	155,696	150,061
豚カット頭数	67,228	66,689	64,716

③19年度事業概要及び20年度事業計画・目標

- 平成19年度事業概要
豚と畜150,061頭、牛馬と畜4,577頭、豚カット64,716頭、牛馬カット1,001頭、枝肉・加工品販売高7,100百万円、総売上高7,535百万円
- 平成20年度事業計画
豚と畜156,500頭、牛馬と畜4,520頭、豚カット69,550頭、牛馬カット1,080頭、枝肉・加工品販売高7,344百万円、総売上高7,809百万円

【組織】

①運営機構



②役員数 (H20. 7. 1現在)

(人)

	取締役	監査役
常勤	2	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	8	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者		

役員報酬支給対象者数	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	57歳
平均役員報酬額	5,480千円/年

③職員数 (H20. 4. 1現在)

(人)

正職員	48	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者		44歳	14年
内、県職員	5		
出向職員	5		
内、県職員			
臨時・嘱託	4		
内、県退職者			
計	57	正職員平均年収	3,970千円
内、県関係者			

【財務】

①損益状況 (19年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	7,545,954
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	7,507,572
運用益収入	
その他	38,382
経常支出 B	7,514,887
人件費(役員含む)	351,200
その他	7,163,687
経常損益 C=A-B	31,067
経常外収入	16,979
経常外支出・諸税	35,273
当期損益	12,773

県の損失補償額	県の債務保証額
-	-

②財務状況 (19年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	978,337	53.7
固定資産	842,221	46.3
資産計	1,820,558	100.0
流動負債	303,163	16.7
短期借入金	41,484	2.3
固定負債	193,592	10.6
長期借入金	193,592	10.6
引当金等	110,767	6.1
負債計	607,522	33.4
資本金	1,319,700	72.5
剰余金	△106,664	△5.9
資本計	1,213,036	66.6
負債・資本計	1,820,558	100.0

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	139,984	70,796	100.0%

※外部積立(中小企業退職金事業団69,188千円)

【県の財政支出】

(千円)

	17年度	18年度	19年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	648			安全・安心あきたブランド推進事業
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	17年度	18年度	19年度	17-18増減	18-19増減
健全性	自己資本比率	%	60.47	62.02	66.63	1.55	4.61
	借入金依存率	%	22.21	14.29	12.91	▲ 7.92	▲ 1.38
	流動比率	%	334.60	264.77	322.71	▲ 69.82	57.94
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	▲ 146,014	▲ 119,437	▲ 106,664	26,577	12,773
	経常利益率	%	0.82	0.69	0.41	▲ 0.13	▲ 0.28
	総資本利益率	%	3.24	2.78	1.71	▲ 0.46	▲ 1.07
発展性	経常収入額	千円	7,644,434	7,753,203	7,545,954	108,769	▲ 207,249
効率性	総資本回転率		3.94	4.01	4.14	0.07	0.14
	職員1人当たり経常収入	千円	131,801	138,450	132,385	6,649	▲ 6,065
	人件費比率	%	4.55	4.45	4.63	▲ 0.10	0.18

2 経営目標の達成状況

経営目標			17年度	18年度	19年度	20年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	▲ 171,776	▲ 135,117	▲ 100,085	▲ 86,000
		実績	▲ 146,013	▲ 119,437	▲ 106,664	
事業成果指標	借入金残高(千円)	目標	481,020	424,800	235,076	193,592
		実績	431,020	276,560	235,076	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	173,350	175,050	175,050	175,750
		実績	170,497	170,774	163,792	
事業成果指標	カット頭数(豚換算:頭)	目標	88,500	90,500	91,500	92,500
		実績	79,303	78,114	74,726	
顧客満足度指数		目標	-	65	80	80
		実績	61	88	89	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

1. 課題
 - ① 事業量の確保。
2. 経営目標の達成状況への自己評価
 - ① 平成12年度から8期連続の単年度黒字が計上でき、累損の解消が順調に進んだ。
 - ② 借入金については、前期98百万円の繰上償還を実施し、着実に減少している。
以上、生産頭数の減少により、と畜・カット頭数・販売量が減少したほか、税法改正による償却費、燃料費等の経費増があったものの、販売費、人件費の抑制により、計画未達ではあるが、12,700千円の当期純利益を計上できたことは、概ね安定した事業展開と経営内容である。
3. その他
当期より、と畜及びカット委託業務収入を受託事業収入から自主事業収入に記載しております。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
・8期連続の黒字決算であるが、と畜、カット頭数が減少し、売上高は減少した。黒字の主な要因は、原価及び費用の削減であり、営業利益は減少傾向にある。 ・将来的には、老朽化設備の改修等が必要と見込まれるが、資金繰りは安定している。平成20年度予算では、役職員の人件費の削減を行った上で、売上高、営業利益の回復を目指して、最終利益見込みは20百万円である。 ・決算実績と今後の計画からみて、欠損金の解消の目途があるとみられる。	